

平成 29 年度 第 1 回 麻績村総合教育会議 議事録

1. 日時 平成 30 年 3 月 20 日(火) 午前 10 時 00 分から午前 11 時 46 分

2. 場所 麻績村役場 委員会室

3. 出席者

(構成員)	麻績村長	高野 忠房
	教育委員会	
	教育長	飯森 力
	教育長職務代理者	市川 祥介
	委員	塚原 明水
	委員	坂野 かほり
	委員	小山 正文

(構成員以外の出席者)

事務局職員 2 名

4. 会議内容

(会議開会 午前 10 時 00 分)

1 開会

○飯森教育長

定刻となりました。これより平成 29 年度第 1 回麻績村総合教育会議を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。始めに、村長よりあいさつをいただきたいと思ひます。

2 あいさつ

○高野村長

何かとご多用なところお集まりいただきありがとうございます。学校統合問題につきましては、ご承知のとおり残念な形となった訳でございますが、早い時期に子どもたちの為により良い環境になってくれればと考えております。当面は、麻績村としてしっかりとした教育を進めていくということになります。教育委員の皆様にはいろいろな面でご尽力いただいている訳でございますが、今後とも是非お願いしたいと思ひております。本日は、教育に関する基本的な計画、予算等に対してのものとなります。麻績村振興計画について、また研究していただいている麻績村の今後の教育について等いろいろある訳ですが、その中で教育大綱について必要な個所の見直しをしていきたいと考えております。本日はよろしくお願いいたしますと思ひます。

○飯森教育長

それでは、さっそく協議事項に入らせていただきます。協議の進行につきましては村長にお願いするようになっておりますので、お願いいたします。

○高野村長

麻績村振興計画後期基本計画につきましては、3月定例議会にてご承認いただきました。また、平成30年度教育委員会主要事業及び予算概要についてであります。議会で予算等が決定されました。その次に、教育委員会で研究していただいている研究会、部会の進捗状況、小・中学校のグランドデザイン（案）についてとありますが、一括してご説明させていただいて、その後にご意見ご質問等いただきたいと思っております。それでは、事務局より説明をお願いします。

3 麻績村振興計画 後期基本計画（H30年～34年）について

4 平成30年度教育委員会主要事業及び予算概要について

5 麻績村の今後の教育方針に関する研究会・部会進捗について

6 小・中学校のグランドデザイン（案）について

○臼井教育次長

それでは、私の方から説明させていただきます。資料につきましては、定例教育委員会でお示しさせていただいた内容と同じでございます。資料4の麻績村の教育に関する研究検討委員会「三部会」の状況につきましては、部会の状況を取りまとめたものになりますので、新たにつくられたものはございません。

まず、3番「麻績村振興計画 後期基本計画（H30年～34年）について」会議資料5をお願いいたします。この計画につきましては、平成30年度～34年度ということで来年度から始まるものになります。目次をご覧ください。「3 後期基本計画の中の第1章学び育み生涯を豊かに生きる村づくり」の部分が教育委員会に関係するところとなりますので、その部分について抜粋させていただいております。この計画につきましては、村長よりも説明がありましたが、3月定例議会でお認めいただいたものとなります。第1章学び育み生涯を豊かに生きる村づくりの中で第1節子育て支援、第2節学校教育、第3節生涯学習、第4節生涯スポーツ、第5節青少年健全育成・キャリア教育、第6節文化財・地域文化と分けております。変わっている部分としては第1節子育て支援、第2節学校教育と全体的に「一貫性、連携」という部分を強調した内容となっております。第1節子育て支援につきましては、一貫性と連携強化という項目をつくり、①子育て支援コーディネーターを中心に保健師・保育所・学校などからなる「子育て支援連携協議会」を一層充実させ、年代別の相談事業における窓口をより明確化し、子どもたちの発達や学びの連続性を踏まえた一貫した支援を行います。とし、一貫性と連携強化を強調したものであります。23ページをお願いします。第2節

学校教育になります。【施策】の中の①学校・家庭・地域の連携を一層密にして、子どもたちの学力・体力・道徳性の向上を図ります。ということでそれぞれの施策の中で「連携、一貫性」という部分を具体的に載せているところでもあります。時間の関係もありますので、第3節生涯学習、第4節生涯スポーツ、第5節青少年健全育成・キャリア教育、第6節文化財・地域文化につきましては、細かい説明を省きますが、前回の計画を踏まえた中で平成30年度から始まる重点的な施策、重点的な項目を載せさせていただいたところでもあります。今回、この振興計画が始まるのが平成30年度であります。教育大綱につきましても、後期基本計画との整合性を保つために平成30年の3月までとなっております。新たな部分につきましては、平成30年の4月からとなりますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、4番「平成30年度教育委員会主要事業及び予算概要について」説明いたします。会議資料1をご覧ください。資料1につきましては、3月定例教育委員会でお出ししたものになります。こちらにつきましても、教育委員会総務関係については大きなものとして本日举行します「麻績村教育大綱の見直し」であります。学校教育関係につきましては、教育研究検討委員会で協議され、実現可能な項目について積極的な推進をしていくということで「心豊かでたくましい麻績の子ども」を目指す子ども像とし、それに向けての具体的なものといたしまして「学力向上リーフレット」に沿って小中一貫した授業への取組を実施するというものであります。こちらの資料につきましては、定例教育委員会でお示ししてありますので、細かい説明については省略させていただきます。

続きまして、会議資料2をご覧ください。平成30年度麻績村社会教育事業計画、平成30年度麻績村社会体育事業計画であります。こちらにつきましても3月定例教育委員会でお示ししてあるものであります。また、社会教育委員会・公民館運営審議委員会でもお認めいただいているものであります。

続きまして、会議資料3をご覧ください。こちらの資料については、平成30年度の教育委員会に関係する予算の一覧表であります。歳入の項目をご覧ください。こちらは、負担金、使用料、各補助金、雑入そして村債となります。予算合計額としましては18,424千円で前年度当初と比べ3,009千円の増額となっております。歳出につきましては、保育園が教育委員会の管轄にありますので、民生費の保育園運営費が55,764千円。教育費としましては、教育委員会費が1,937千円。事務局費が30,123千円。小学校費の学校管理費が42,949千円。教育振興費が3,981千円。中学校の学校管理費につきましては、学校組合の中学校に負担している金額となります53,208千円。社会教育としては、社会教育総務費が22,724千円。公民館費が5,479千円。文化財保護費が1,437千円。放課後子どもプラン推進費が8,132千円。保健体育費として、保健体育総務費が1,930千円。体育施設費が6,699千円。歳出合計としましては、234,363千円となります。次のページにまいります。

ここでは、主だった歳入・歳出についての内容を説明させていただきます。歳入につきましても、保育所利用料につきましては3歳以上は無料となっております。未満児の利用については利用負担額の徴収をします。成人式祝賀会負担金につきましては、平成30年度は麻績村が当番となりますので筑北村からの負担金となります。放課後児童健全育成事業国庫補助金・県費補助金につきましては、放課後児童クラブの運営

に掛かるものとなります。共に補助率は3分の1ずつとなります。多子世帯保育料減免事業費県補助金につきましては、第3子以降の子に対する軽減措置を年額72千円以上の減免した場合に県から2分の1の補助率で補助金が入ります。放課後子ども教室推進事業補助金につきましては、放課後子ども教室事業に対する県の補助金で補助率は3分の2となります。過疎対策事業債ということで9,500千円ございますが、こちらは教育環境整備事業に対するもので特別支援教育に係る村費講師等に充当するものとなります。歳出につきましては、それぞれの項目の主な支出内容について載せさせていただきますので、ご覧いただければと思います。

続きまして、5番「麻績村の今後の教育方針に関する研究会・部会進捗について」説明いたします。会議資料4をご覧ください。現在、保育園・学校部会、子育て支援部会、社会教育部会の3つの部会に分かれて検討していただいておりますが、その三部会の進捗状況についてまとめた資料となります。

保育園・学校部会につきましては今年度7回開催し、部会とは別に適宜分散会も行っております。目指すべき一貫教育について「保育学校に関わる全職員の認識の共有」、「目指すべき子ども像に向けての方向付け」、「検討内容を細かく分けた分散会の設置」、「一貫教育についての理解（研修の実施）」、「検討した結果の『見える化』による周知と実践」について研究検討を行っております。特に「検討した結果の『見える化』による周知と実践」についてはリーフレットによる周知、実践を平成30年度に予定しております。目指すべき子ども像としましては、「心豊かでたくましい麻績の子ども」ということでこれに向けて各事業を方向付けしております。分散会につきましては、今年度は7つの分散会に分かれて各学校が実施していることの洗い出し、内容の把握をするとともに連携・実践できることを目指しております。平成30年度からは5つの分散会が増え12個の分散会で進めていく予定となっております。一貫教育の研修につきましては、平成29年度は10月12日に県教委から講師に来ていただきまして先進的な取組や現在の状況について説明していただきました。保小中一貫教育連絡会につきましては、従前行っていた麻績小学校・坂井小学校・筑北中学校の三校連絡会を麻績保育園・麻績小学校・筑北中学校の三校園での枠組みとし定期的に連絡会を実施するものです。今後検討すべき事項といたしましては、「保育園及び小中学校の環境整備及び安全対策」、「中学校の部活動に関する課題と存続の方向性」、「学校給食の今後の方向性」等が挙げられています。次のページにまいります。

子育て支援部会につきましては、三部会の中でも一番多く開催しております。麻績村の抱える子育て支援関係の課題について研究・検討を行っているもので、「子育て支援センターの在り方」、「ひだまりの運営関係」、「相談体制関係」、「子育て支援連携協議会の関係」、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室等の関係」ということでそれぞれについて研究・検討を行っていただいております。先日、山形村に視察に行っていたいて、行っているものに対して麻績村で行えるものや参考にできるものに対して協議を行っていただいております。次のページにまいります。

社会教育部会につきましては、範囲が広いため部会の中でさらに小部会に分かれて、文化財関係、公民館関係、社会体育関係、図書館及びその他の関係について研究・検討を行っていただいております。現在は、図書館についての小部会を行っていただいております。現在の検討の中で、平成30年度からできることから実践できるように

進めており、「文化財マップの改訂、冊子改訂に伴う編纂委員会の早期設置」、「小中学校の授業への取り入れ」、「新たな公民館講座」、「村民運動会・村民体育祭の内容」について今後検討がなされていく予定となっております。

確認も含めまして3番、4番、5番について一括して説明させていただきました。

○飯森教育長

それでは、6番「小・中学校のグランドデザイン（案）について」説明をさせていただきます。麻績小学校と筑北中学校のグランドデザインについては、今までの研究検討委員会で検討していただいたこと、また教育大綱等を入れる中で作成していただいております。また、それぞれのグランドデザインの中にも目指す子ども像として「心豊かに逞しく」となっております。また、それぞれのグランドデザインの中にも目指す子ども像として「心豊かでたくましい麻績の子ども」という文章を入れていただいております。内容については見ていただいて今後学校が行っていく方向を確認していただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○高野村長

それでは説明しました内容につきまして、ご意見ご質問等あればお願ひしたいと思ひます。麻績村振興計画後期基本計画、平成30年度教育委員会主要事業及び予算概要について、また麻績村の今後の教育方針に関する研究会・部会進捗については皆さんすでにご承知のことだと思ひます。6番の小・中学校のグランドデザイン（案）については平成30年4月から各学校で始まるということでございます。教育委員会の思ひもこの中に入っていると思ひます。私の方からお聞きたいのですが、通級指導教室は今、何名の利用がありますか。

○臼井教育次長

麻績村が6名、生坂村が3名、筑北村が1名です。生坂村の方には先生が生坂小学校に行つてとなります。筑北村の1名についてはこちらに来ていただいております。

○高野村長

その他にご質問等よろしいでしょうか。

(なし)

○高野村長

それでは、意見交換に進ませさせていただきます。

7 意見交換

・教育大綱の試案について

○高野村長

意見交換ということでございますが、教育大綱についてのご意見をいただきながら

見直しをしていきたいと思っておりますのでお願いしたいと思っております。それでは、事務局より説明いたします。

○臼井教育次長

それでは、麻績村教育大綱（試案）をご覧ください。朱書きの部分が前回の大綱から修正をさせていただいている部分となります。それでは、修正部分の重点に説明させていただきます。

I 大綱の基本理念

麻績村に暮らすすべての住民が豊かな生涯を送るため、「一貫性と連携強化」を重点とし、乳幼児期から支援・保育・教育が途切れることなく、一貫した支援体制の強化を図ります。また、全ての住民が生涯にわたり心の豊かさを求めて学び続けるような環境の充実に努めます。

今回、I大綱策定の趣旨という部分をなくし、大綱の基本理念に変えさせていただきました。

II 大綱の期間

この大綱の対象となる期間は、第6次麻績村振興計画 後期基本計画の期間に合わせて、平成30年度から34年度までの5年間とします。

こちらにつきましても、第6次麻績村振興計画に合わせたものとなりますので、後期基本計画という部分とそれに合わせた期間とさせていただきました。

III 大綱の見直し

教育を取り巻く環境の変化などを踏まえ、第6次麻績村振興計画との整合を図りながら、適宜、見直しを行います。

IV 大綱の基本目標 「 学び 育み 生涯を豊かに生きる 」

子どもたちが心豊かに育ち、家庭、学校、地域がひとつになって、子どもを育てるためのよりよい環境づくりに努めます。また、住民誰もが自己目標の実現ができるよう、学習環境の整備を行い、一人ひとりが生涯輝くことのできる教育を推進します。

こちらの部分につきましては、変更させていただいた点はございません。

V 大綱の基本方針

子育て支援の充実

○郷土を愛し「ふるさと麻績村」への誇りを胸に、広い視野で自己実現を目指す、そんな心豊かでたくましい子どもたちの成育に努めます。

○子育てに対する不安や悩みの軽減に向けた相談体制の確立を図ります。

- 発達障がいなど、個別の支援を必要とする子どもたちに専門職との連携を深め、適切な支援体制の確立を図ります。
- 子育て家庭への経済的な支援の一層の充実を図ります。

子育て支援の充実につきましては、子どもたちの「成育」というところを振興計画に合わせて修正させていただき、一貫性と連携強化を重視し、「発達障がいなど、個別の支援を必要とする子どもたちに専門職との連携を深め、適切な支援体制の確立を図ります。」という文章を加えさせていただきました。

学校教育の充実

- 子どもたちが明るく伸び伸びと学習できる教育環境の充実と、一人ひとりの「個」の良さを伸ばし、志を育てる教育の継続を図ります。
- 支援や教育が途切れることのないよう「一貫教育」を推進し、保育園と小中学校が同じ教育観を共有します。
- 学校・家庭・地域の連携を一層密にし、子どもたちの学力・体力・道徳性の向上を図り、自ら考え自ら行う力を養えるよう支援します。
- 教育的支援を必要とする子どもたちへの取組として、インクルーシブ教育の推進なども踏まえ、個々のニーズに応じた支援体制の充実に努めます。

学校教育の充実につきましては、最終答申に合わせて「一人ひとりの「個」の良さを伸ばし、志を育てる教育の継続を図ります。」という文章に変えさせていただきました。それから、「支援や教育が途切れることのないよう一貫教育を推進し、保育園と小中学校が同じ教育観を共有します。」と「学校・家庭・地域の連携を一層密にし、子どもたちの学力・体力・道徳性の向上を図り、自ら考え自ら行う力を養えるよう支援します。」という文章についても、振興計画の文章の一部を引用させていただいた部分になります。

生涯学習の推進

- 全ての住民が、生涯にわたり自発的・自主的に心の豊かさを求めて学び続けるような環境を整えます。
- 「麻績村地域交流センター」や「おみ図書館」などの基幹施設を中心に、多様化するニーズに対応する、より豊富なメニューや情報の提供に努めます。
- 生活に豊かな潤いをもたらす、芸術・文化活動にふれる機会の提供に努めます。

生涯スポーツの振興

- 生活環境の変化による運動不足や生活習慣病などが広がる中、すべての人が生涯にわたり健康でスポーツを楽しむ環境整備に努めます。
- 夢や感動・勇気を与える競技スポーツの普及のために、裾野を広げるような支援を行うとともに指導者の育成確保に努めます。

生涯学習の推進、生涯スポーツの振興については変更はありません。

青少年健全育成・キャリア教育の推進

- 青少年をとりまく環境が大きく変化する中、家庭とともに地域や各機関と連携して村ぐるみで青少年の健全育成活動を推進します。
- 社会情勢のグローバル化に伴い、早期から職業意識や就業意欲の醸成を図れるようなキャリア教育の推進に努め、ふるさと教育を根底とした国際教育の充実を図り、幼児期から小学校、中学校と体系的にキャリア教育を支える仕組みを整えていきます。

青少年健全育成・キャリア教育の推進につきましては、「社会情勢のグローバル化に伴い、早期から職業意識や就業意欲の醸成を図れるようなキャリア教育の推進に努め、ふるさと教育を根底とした国際教育の充実を図り、幼児期から小学校、中学校と体系的にキャリア教育を支える仕組みを整えていきます。」という文章に変えさせていただきましたが、こちらにつきましても最終答申から引用させていただいている部分となります。

文化財・地域文化の継承

- 専門機関と協力して、数多く存在する古墳や史跡、仏像などの文化遺産や伝統的な地域文化、行事などを適切に保存・維持管理をするとともに、次代を担う人材育成に努めます。
- 魅力的な地域資源・素材を関係機関と連携して情報を発信します。

文化財・地域文化の継承につきましては、変更点はございません。

VI 策定の経過

平成28年3月 麻績村教育大綱 策定
平成30年3月 第1回 改訂

VI策定の経過につきましては、新たに載せさせていただいたものになります。今後も改訂するたびに最後の部分に載せさせていただこうと考えております。

以上が麻績村教育大綱を修正させていただいた（案）となります。よろしくお願いいたします。

○高野村長

それでは、いろんなご意見をいただきながら策定していきたいと思っておりますので、お願いいたします。

○市川職務代理

最終答申でも申し上げましたが、ICT 機器を活用した教育や交流教育に向けた配慮についての取組を位置づけるべきなのか、それとも一貫教育に含まれているからいいのかと迷っておりますが、どうでしょうか。

○高野村長

具体的な方針の中で進めていくのか、それとも大綱に入れるべきなのかというところですが、大綱はあくまでも基本的な方向であり、具体的な施策については教育委員会や学校にある程度は任せる方が良いのではないかと考えておりますが、ご意見いただけますか。

○小山委員

村長さんがおっしゃったとおり、大綱ですので具体的な部分については別の計画等で定めればよいと思います。

○高野村長

その他にもここに載せた方がいいというものや文章から落としておくべき箇所等あればご指摘いただきたいと思います。教育長さんご意見いただけますか。

○飯森教育長

突発的な事業についても拾うことができるという解釈から大きく括りの方が良いと考えております。あまり細かくしてしまうと、麻績村の今後の教育方針に関する研究検討委員会での動き等を反映することが難しくなるかもしれませんので、この文章で拾えない部分があればご指摘いただきたいと思います。

○高野村長

塚原委員さんは何かご意見ございますか。

○塚原委員

教育大綱については問題ないと思います。基本的な部分については抑えられていると思います。具体的な課題については、大綱の方向に沿って進めていければよいと考えています。

○高野村長

その他にご意見等よろしいでしょうか。

(なし)

○高野村長

それでは大綱について、お認めいただいたということですが、今後の予定はどうなりますか。

○飯森教育長

公表等については、区長会で概略等の説明をさせていただいて、全戸配布させていただきます。配布は、どのようにいたしましょうか。

○高野村長

次回の広報に合わせて、配布できればいいと思います。それでは、全体的に何かご意見ございますか。

○塚原委員

子育て支援部会で研究している内容についてですが、相談窓口の専門員やひだまりの拡充によるスタッフを用意していただけると安心して利用できると思います。それから、子育て支援コーディネーターが今後の連携の中心になると思いますので、専門の方を考えていただければありがたいと思います。最後に、子育て支援連携協議会の今後のあり方について検討をしております。今後、要望等が出るかと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

○市川職務代理

関連して保育園・学校部会についても、保護者の代表で PTA 会長さんに来ていただいていましたが、ぜひ状況がよくわかっている前 PTA 会長さんを「その他教育長が認めるもの」で入っていただける体制をしていただけたらありがたいと思います。もう 1 点が「麻績村の文化財」の改訂に際し、ぜひその編集委員には 50 歳代の方を中心に考えていただき、文化財を継承していく方の育成という部分も考えていただければと思います。

○高野村長

その他にご意見等ございますか。

○坂野委員

筑北中学校への新入学者が今後麻績の子どもだけになり、平成 30 年度は坂井地区から 1 名のみ入学ということで生徒数の減少が考えられますが、「どうやって活気を出していくか」ということで保護者の中でも話し合いがされていますが、交流を増やすことが 1 つあると思います。高校進学時のギャップを保護者は心配していますので、そうならないために「ホームステイ」等の意見も出ております。その他にも、聖南中学校との部活動のあり方がどうなるのか等の不安が出ておまして、「子どもたちのやりたいこと」へのお力添えをいただけたらという意見があります。

○飯森教育長

保護者の皆さんが考えていただいていることにありがたく感じております。今後の方向として、コミュニティスクール等を活用して「子どもたちがやりたいことに、どのくらい保護者の方の協力が得られるか」ということが 1 つの課題だと考えております。部活動の問題ですが、聖南中学校の方にもご理解いただかないと難しい面があります。学校間同士の話し合いも必要ですが、保護者の方のご意見やお声も出していただければありがたいので、よろしく願いいたします。

○高野村長

ブレイブウォリアーズの関係で、麻績村でもバスケットボールの人気があります。他の市町村でも人気があるようですが、野球と比べバスケットボールは人数が少なくてもできますので、そういった意味でも人気が出ているようです。子どもたちが何をやりたいのかということが大事だと思います。

○市川職務代理

長野県全体の部活動でも、少子化が進み「学校同士で一緒になったチームをどうするか」ということがここ数年の課題でしたが、種目が変わってきているというところもあります。子どもたちも自分の体験を通じて、やりたいスポーツ等を考えると思いますので、そういった子どもたちが体験する機会を増やしてあげることが大事です。

○高野村長

小山委員さんは何かご意見ございますか。

○小山委員

具体的な考えはありませんが、教育委員会も節目にあると思いますので、そういった課題を全体で考えていかなければいけないと感じております。

○高野村長

先ほどホームステイという話が出ましたが、ホームステイの受け入れをするとなった時に保護者の皆さんの考えはどうですか。海外の方がホームステイを希望するとなった時に1週間程一緒に生活することになると思います。子どもたちにとっては良い経験になると思いますが、家庭が大変だと思います。

○坂野委員

保護者の意見の中では、「ホームステイに行く」ということだけで「受け入れる」ということについては話し合いされていなかったのではありません

○市川職務代理

以前、千葉の子どもたちを受け入れていたことがありますが、良い経験でした。大変だとは思いますが、保護者の方にとっても良い経験になると思います。

○高野村長

農家民泊ということでヨーロッパの方を招いて、泊まって農業を体験するということをやっています。受入れるところがあれば可能だと思いますので、検討していただければと思います。その他にご意見ございますか。

○塚原委員

個人的な考えですが、中学校で善光寺街道のカレンダーを作るように、遠足でこの地域の文化財を見に行くことがあってもいいのではないかと思います。福満寺等をあ

る学年では見に行くということがあってもいいのではないかと思います。坂井小学校の校長先生が遠足で麻績の文化財に連れてくるということがあるので、そのように感じました。それから、海外との交流の話が出ましたが、姉妹校のように大きな市や町と学校間で交流したり、市と村で交流したりできれば良い体験になるのではないかと思います。

○高野村長

ありがとうございます。また、教育委員会でも具体的な検討をしていただければと思います。大きな市や町に限らず、全校児童が数人しかない学校等との交流というのも学ぶべきことは多くあると思いますので、そういったことも含めて検討していただければと思います。文化財の資料に関してですが、今までは紙で残しておりましたが、館報や村誌等を電子データで残すということも考えるべき時代になったのかと感じております。そのようなことも検討していただければと思います。その他にご意見等ございますか。

(なし)

○高野村長

よろしいでしょうか。それでは、その他に移ります。

8 その他

○飯森教育長

こちらでは、特に用意しておりません。

○高野村長

それでは、以上で終わりたいと思いますが、閉会を事務局お願いします。

9 閉会

○飯森教育長

長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございました。以上で、麻績村総合教育会議を閉じさせていただきます。

(会議閉会 午前 11 時 46 分)